

遺伝子組換え農作物等の研究開発の進め方に関する検討会の設置について

平成 19 年 5 月 22 日
農林水産技術会議事務局

1 趣旨

遺伝子組換え農作物等については、イネゲノム研究等により農業上重要な遺伝子の単離等が進み、育種に活用するための基礎的条件はほぼ整いつつあり、その開発に向けて次のステージに進むことが可能な段階となっている。

また、遺伝子組換え技術を含むゲノム科学の利用については、本年 2 月の「イノベーション 25 中間とりまとめ」や「国産バイオ燃料の大幅な生産拡大」、本年 4 月の「21 世紀新農政 2007」などにおいて、環境・エネルギー・食料問題に対応するための有効な手法として位置付けられたところである。

他方、新しい技術である遺伝子組換え技術に対して国民の多くは不安を抱いており、その解消が十分には進んでいない状況にある。

このような状況を踏まえ、今後の研究開発に関する施策の適切な推進に資するため、「遺伝子組換え農作物等の研究開発の進め方に関する検討会」（以下「検討会」という。）を設置する。

2 検討事項

- ・ 遺伝子組換え農作物等の研究開発の現状と課題の分析・整理
- ・ 重点的に研究開発を進めるべき分野と目標
- ・ 効率的・効果的に研究開発を進めていくための方策 等

3 運営

- (1) 検討会は、別紙の委員により構成する。
- (2) 検討会の庶務は、農林水産技術会議事務局技術安全課において行う。

4 スケジュール

- | | |
|----------|------------|
| 5 月 22 日 | 第 1 回検討会開催 |
| 7 月 | 中間取りまとめ |
| 年内 | 最終取りまとめ |

(別紙)

構 成

(五十音順：敬称略)

ありた よしこ
有田 芳子

主婦連合会環境部長

いしい しげたか
石井 茂孝

キッコーマン株式会社顧問
(財)野田産業科学研究所副理事長兼専務理事

うちみや ひろふみ
内宮 博文

東京大学分子細胞生物学研究所教授
(財)岩手生物工学研究センター所長

かいぬま けいじ
貝沼 圭二

農林水産技術会議委員
元 国際農業研究協議グループ(CGIAR)科学理事会理事

こいけ いっぺい
小池 一平

全国農業協同組合連合会営農総合対策部長

しのざき かずお
篠崎 一雄

(独)理化学研究所植物科学研究センター長

たけだ かずよし
武田 和義

岡山大学資源生物科学研究所 所長
日本学術会議会員

たばた さとし
田畑 哲之

(財)かずさDNA研究所 副所長

ひろつか もとひこ
廣塚 元彦

不二製油株式会社研究開発本部フードサイエンス研究所 所長

みついし せいじ
三石 誠司

宮城大学食産業学部教授

やまもと かずこ
山本 和子

フリージャーナリスト
(有)農業マーケティング研究所所長